Press Release
報道関係者各位

2026年11月5日
セーフィー株式会社

NTTデータ、東急セキュリティ、セーフィーが緊急通報の実証実験を実施
米国で人口の約99%で導入の次世代型緊急通報プラットフォーム「Rapid SOS」を活用

クラウド録画サービスシェアNo.1（※1）のセーフィー株式会社（東京都品川区、代表取締役社長CEO：佐渡島 隆平、以下「セーフィー」）は、緊急時における対応力の高度化に向けた取り組みの一環として、東京消防庁の協力のもと、渋谷区桜丘町周辺において緊急通報プラットフォーム「Rapid SOS（※2）」を活用した実証実験を株式会社NTTデータ（以下、NTTデータ）、東急セキュリティ株式会社（以下、東急セキュリティ）らと共同で実施したことをお知らせいたします。

本実証実験では、従来の音声による緊急通報と同時にスマートフォンからの位置情報を取得することにより、通報地点周辺にあるセーフィーのクラウドカメラ映像を「Rapid SOS」プラットフォームを介して消防指令センターへリアルタイムに共有する仕組みシミュレーション環境で検証しました。
これにより、現場状況の把握精度向上や初動対応の迅速化など、社会課題である災害・救急対応の高度化に映像データが大きく貢献できる可能性が示唆されました。

東急セキュリティ　safie

現場DX

■本実証実験実施の背景と目的

現在の緊急通報（119番通報など）は音声が主体であり、通報者の動揺や現場の混乱から、正確な状況把握や場所の特定に時間を要するケースが少なくありません。
セーフィーは、これまで防犯や現場DXなどの業務効率化で広く活用されてきたクラウドカメラの映像データを、防災・減災へと寄与するべく、本実証に参画いたしました。米国で人口の約99%（※3）をカバーする標準的な緊急通報プラットフォーム「Rapid SOS」に、日本国内で高いシェアを持つセーフィーのクラウド映像を掛け合わせることで、有事の際に「現場を即座に可視化」し、東京消防庁や東急セキュリティによる迅速かつ的確な救急・消防活動を支援する基盤の構築を目指します。

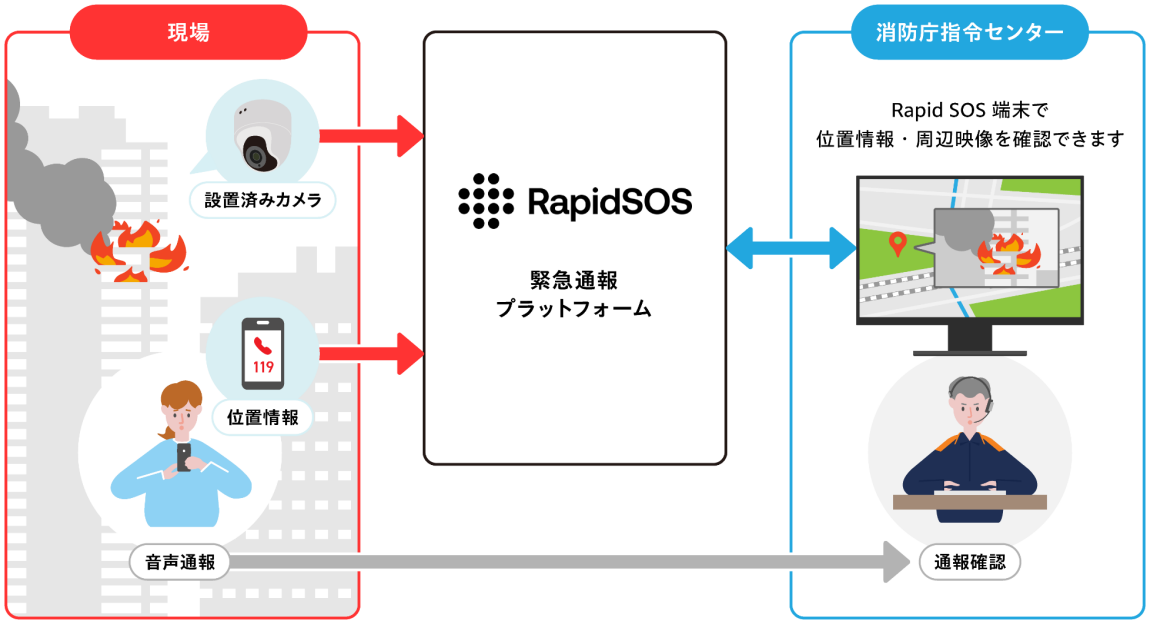
■実証実験の概要と各社の役割

東京消防庁、NTTデータ、東急セキュリティとの連携のもと、人流が多く大規模なエリアマネジメントが求められる「渋谷区 桜丘町周辺」にて実施されました。

- 実施エリア：渋谷区 桜丘町周辺
- 検証内容：緊急通報（119番）が発生した際、通報者の位置情報に基づき、周辺に設置されたクラウドカメラの映像データを「Rapid SOS」経由で消防指令センターへリアルタイムに配信・確認できる仕組みの検証

- 各社の役割：
  - ○ セーフィー：現場の状況をリアルタイムに捉えるクラウドカメラ映像プラットフォームの提供および連携検証の推進
  - ○ NTTデータ：プラットフォーム全体の検討・推進
  - ○ 東急セキュリティ：警備会社の立場からの参加、緊急時における位置情報と映像データの連携活用に関する検証協力
  - ○ 東京消防庁：緊急通報時における位置情報・周辺映像の確認に関する検証協力

【システム連携イメージ】



■本取り組みにおける今後の展望

本取り組みは、（事前にユーザが連携・共有の許可をした場合に限り）エンドユーザからの緊急通報の際、自動的に消防などが利用する緊急通報プラットフォームに現場周辺の映像が共有される取り組みとなります。

セーフィーは、映像データで業務を効率化する「現場DX」および映像データとAIや外部プラットフォーム（Rapid SOS等）を組み合わせることで、現場の判断や対応を自律化・最適化する「現場AX（AI Transformation）」を推進しています。将来的にはセンサーを用いた自動検知、施設管理者や管理センターへの通知、適切な消防への通報が可能になるなど、安心安全な世の中づくりに寄与する映像プラットフォームを目指してまいります。

あらゆる現場の映像データを集約し、AIが自律進化を続ける「データ循環型プラットフォーム」を構築し、変化し続ける顧客のニーズに合わせ、常に最適化されるソリューションの社会実装を推進し、現場AXを波及させてまいります。

（※1）テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査（2025）」より、エンジン別カメラ登録台数ベースのシェア（54.3%）
（※2）Rapid SOSとは、緊急通報時に通報者の位置情報や各種データをリアルタイムに統合・共有し、消防・警察などの指令機関へ提供するプラットフォームです。米国では広く導入されており、人口の約99%をカバーするなど、スマートフォンとの連携により、迅速かつ正確な初動対応を支えています。
（※3）RapidSOS社が公開している公式ファクトシートより

■クラウド録画サービス「Safie（セーフィー）」とは



Safieはカメラとインターネットをつなぐだけで、いつでもどこでも映像を確認できるクラウド録画サービスシェアNo.1のサービスです。
「映像から未来をつくる」というビジョンのもと、人々の意思決定に映像をお役立ていただける未来を創造し、企業から個人まで誰もが手軽に利用できる映像プラットフォームを目指しています。

我々は「映像データであらゆる産業の”現場”をDXする」というビジネスコンセプトを掲げ、小売り、土木・建設、製造、医療などのあらゆる現場のDXを率先して推進しています。

セーフィーは、データガバナンスに関する下記指針を遵守すると共に、ステークホルダーの皆様と協調して啓発活動にも取り組んでおります。また、社外有識者よりプライバシー保護などに関する助言を受けながら、指針及び実務上の運用基準の見直しを行っております。

- データガバナンスに関する取り組み：https://safie.co.jp/csr/advisoryboard/
- データ憲章（2022年4月1日発行）：https://bucket.safie.link/pdf/csr/advisoryboard/safie_data_charter_JP.pdf

映像から未来をつくる

【セーフィー株式会社の会社概要】
所 在 地 東京都品川区西品川1-1-1 住友不動産大崎ガーデンタワー
設 立 2014年10月
代 表 者 佐渡島 隆平
事業内容 クラウド録画型映像プラットフォーム「Safie」の開発・運営および関連サービスの提供
サービスサイトU R L https://safie.jp/
コーポレートサイトU R L https://safie.co.jp/
採用ページ https://safie.co.jp/teams

【本件に関するお問い合わせ先】
セーフィー株式会社
https://safie.jp/
Email pr@safie.jp
鈴木 章子 ／ 070-3351-1248